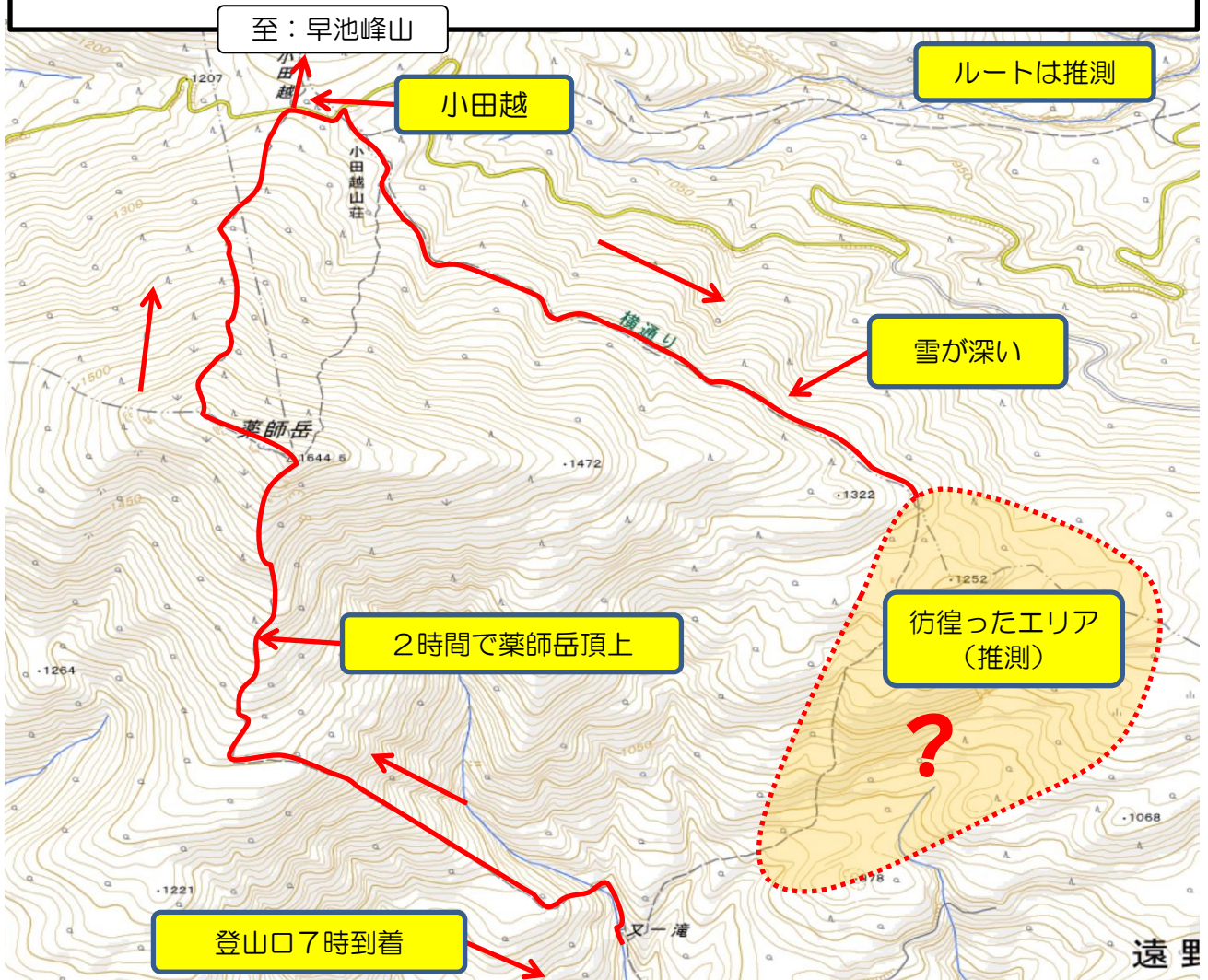


薬師岳遭難(2019年5月)

単独、下山で道迷い。地図と携帯を紛失し、やむを得ず一晩ビバーク。翌日、ココヘリに加入していたためヘリで救助された。



解説

家族にLINEで「早池峰山ってきます。」とだけ残して出発しました。早池峰山を見たのですが、そこからの400mの下り、700mの登りは、この雪とトレースのなさでは無理だと判断し、下山することにしました。下山途中、雪が深すぎて何度もお尻で滑っているうちに、ザックの後ろのポケットにいていた地図を落としてしまいました。

さらに彷徨っているうちに沢に転落。やむを得ず、びしょびしょになりながら沢をくだるうち、気が付いたら携帯まで無くしていました。「死ぬな」と思いました。これ以上動くと滑落の危険もあると思い、平らな場所をみつけて、救助を待つしかないと覚悟しました。5日の11時ごろだったと思います。薄手のダウンと雨具のジャケットを防寒具として持っただけで、夜は寒くなりました。

【家族の行動】数週間前に姉から連絡が途絶えたら「ココヘリ」へ連絡して欲しいと言われていたこともあり、大事をとって電話をしました。(HP参照)

「ココヘリ」に入っていたため大事に至らなかった事例。現在位置が分からない場合『**根拠なく行動し体力が無くなり滑落**』というパターンが多い。特に滑落は死に至る場合も多い。登山届はコンパス(compass)がお勧め。下山届が提出されていない場合(5時間以上経過)、緊急連絡者に未下山確認メールが届くシステムとなっている。コンパス(compass)とココヘリを利用し安全登山を心がけてほしい。